

管内概要

ようこそ！ 上川中部国有林へ



平成 23 年 4月
上川中部森林管理署

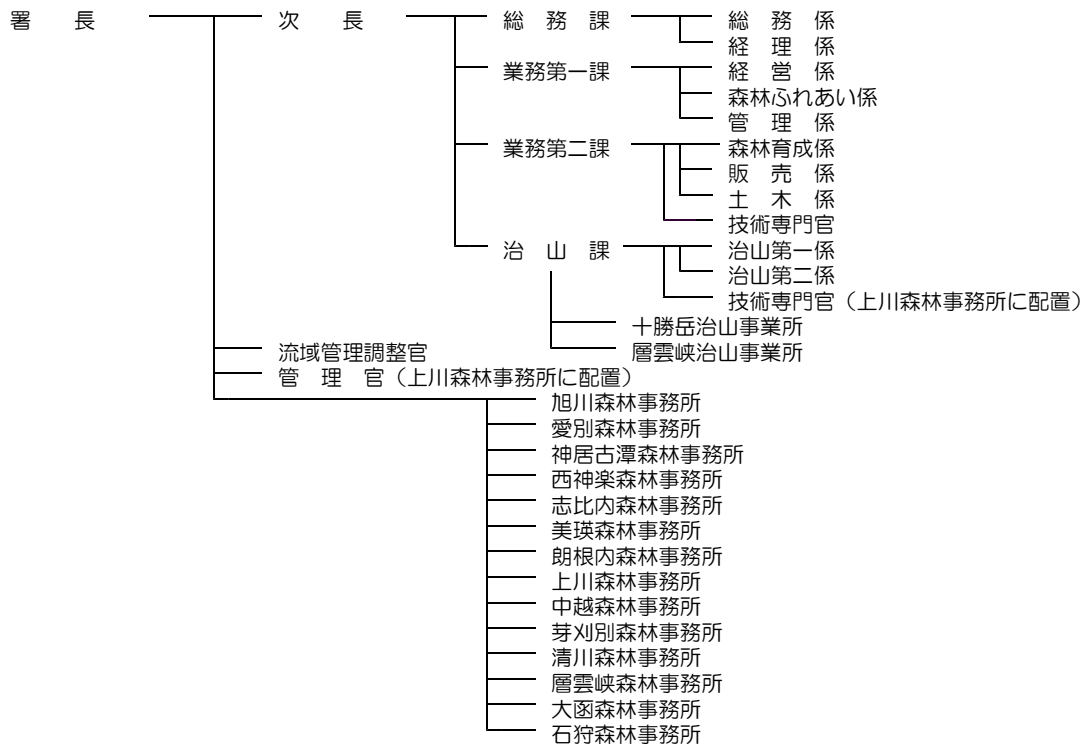




I 沿革

明治41年	6月	旭川町に上川営林区署設置。
大正8年	4月	旭川営林区署に改称。
昭和22年	5月	旭川営林局旭川営林署となる。(林政統一)
昭和54年	1月	旭川営林支局旭川営林署となる。
昭和57年	3月	旭川営林署に神楽営林署を統合。
平成11年	3月	上川中部森林管理署となる。
平成13年	8月	美瑛事務所を本署に統合。
平成16年	4月	上川事務所を本署に統合。

II 組織



Ⅲ 管理経営の基本

1 概況

当署の管内は北海道のほぼ中央部、石狩川の上・中流部に位置しています。

管内の森林は、山岳部を中心に国内でも有数の針葉樹と広葉樹が混じった天然林地帯となっており、その多くは大雪山国立公園をはじめとする公園地域等になっています。

湿地、高山帯等、特殊な立地条件の下に成立している植物群落も多く、学術的な価値が高いことから「森林生態系保護地域」等の保護林の設定も行っています。

北西部の旭川市周辺には、嵐山神居自然休養林があり外国樹種見本林等市民の憩いの場として親しまれています。

また、大雪山系は十勝岳をはじめとする道内有数の火山地帯であり、山地災害防止機能の発揮が求められている地域でもあります。

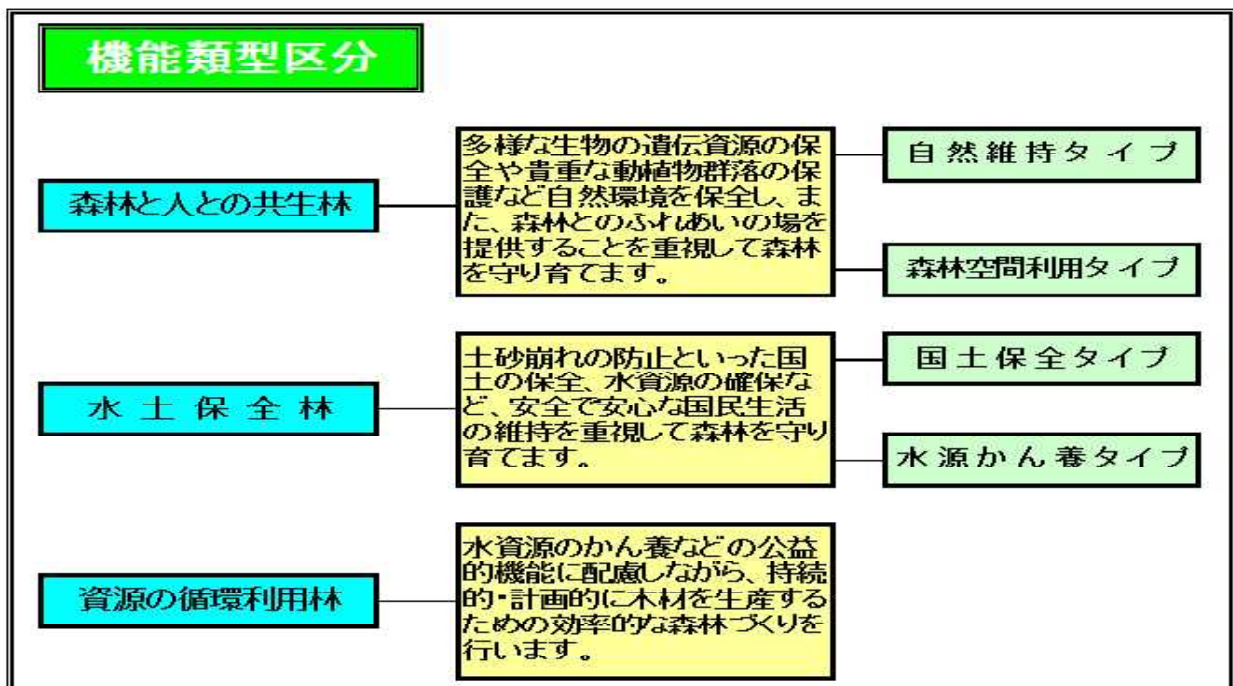
2 管理経営の基本的考え方

森林・林業や国有林野事業に対する国民の多様な要請と期待の下に、当森林管理署では、①国土の保全その他国有林野の有する公益的機能の増進を図るとともに、あわせて、②林産物を持続的かつ計画的に供給し、③国有林野の活用によりその所在する地域の産業振興又は住民の福祉の向上に寄与することを目標として、事業実行の効率化と併せて簡素かつ効率的な体制の整備を図りつつ、次の方針に即した管理経営を行います。

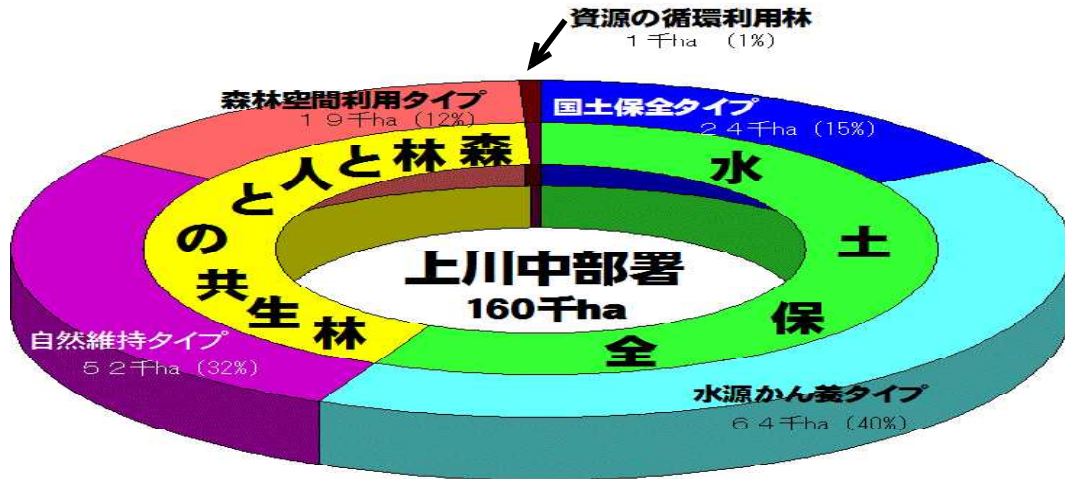
- (1) 公益的機能の維持増進を旨とした管理経営の推進
- (2) 森林の流域管理システムの下での管理経営
- (3) 国民の森林^{もり}としての管理経営
- (4) 地球温暖化防止対策の推進
- (5) 生物多様性の保全



Ⅳ 国有林の現況



1 機能類型別面積



2 人工林・天然林別面積

(単位：ha)

区分	人工林			天然林			林地以外	合計
	単層林	複層林	小計	育成天然林	天然生林	小計		
面積	29,289	3	29,292	23,719	82,511	106,230	24,203	159,725

※ 人工林率 23% (林地面積に対する比率)。 林地以外は、主として高山帯です。

単層林



複層林



育成天然林



天然生林



3 保安林・公園等

(単位：ha)

保安林				国立公園	レクリエーションの森	史跡・名勝 鳥獣保護区
計	水源かん養保安林	土砂流出防備保安林	その他			
166,450	149,897	7,505	9,048	77,905	5,645	24,877

※保安林面積は、157,974ha (重複を除く)、 保安林率は、99%となっています。



水源かん養保安林



土砂流出防備保安林



大雪山国立公園
(沼の原・トムラウシ山)



レクリエーションの森
(神居古潭)

4 地元利活用

(単位：ha)

面積	分収育林	分収造林	法人の森	貸付及び使用地			
				計	電気事業	道路及び水路	その他
891	(25)109	(21)180	(5) 19	377	122	150	105

※ () は件数。

5 その他

(1) ふれあいの森

1	所在地	上川郡美瑛町 国有林 3 5 3 林班
	面積	2. 0 0 ha
	協定者	CCC自然・文化創造工場北海道事業部
2	所在地	旭川市 国有林 3 0 4 林班
	面積	0. 1 9 ha
	協定者	社団法人 北海道森と緑の会



忠別川上流部ふれあいの森



親子協働の森

(2) 遊々の森

1	所在地	旭川市神居町富沢 国有林 2 6 6 林班
	名称	美遊の森 (4 7. 6 0 ha)
	協定者	旭川市立富沢小学校
2	所在地	上川郡上川町清川 国有林 2 1 3 9 林班
	名称	上小の森「エミーナ」 (7 5. 2 1 ha)
	協定者	上川町立上川小学校

上小の森「エミーナ」↓



← 美遊の森



(3) 保護林

(単位：ha)

種 類	名 称	面 積
森林生態系保護地域	大雪山	36,698
植 物 群 落 保 護 林	大雪原生林	527
	大雪山系高山帯	1,340
	十勝岳泥流	254
	小松原保護林	37
林木遺伝資源保存林	カツラ・オニグルミ・ チョウセンカラマツ・ウダイカンバ・ダケカンバ ・エゾマツ・チョウセンヤマナラシ・アズキナシ ・シラカンバ・シウリザクラ・シロエゾマツ (※11樹種11箇所)	240
計		39,096

※ 保存林には複数樹種の箇所あり



大雪山森林生態系保護地域



美瑛町 「森の神様」(カツラ)
幹周り11.5m、樹高31m



上川町
「大雪原生林」



V 事業の概要 (23年度予定)

1 収穫量 (単位：千m³)

総量	主伐	間伐
27	1	26

2 素材生産量 (単位：千m³)

素材生産
11



3 造林事業 (単位：ha)

更新		保育
新植	天I	
—	—	1,739



4 林道事業

新設工事	改良工事	災害復旧工事
1路線	2路線	4路線



5 治山事業

治山施設	更新(天I)	保育
5基	—	51ha



6 環境に配慮した取組み等

(1) 山岳地帯等の保全

大雪山系高山帯では、登山者などの登山道外侵入や雨水による登山道の洗掘が著しく、貴重な高山植物などの生育環境が悪化しかけているところも見られます。

植生などが荒廃している保護林で、植生を守るための保全措置を行っています。

また、浮島湿原の保護やエゾシカの食害対策も行っています。



化雲岳線歩道
(階段工)



湿原保護のための木道

エゾシカの食害対策
(食害防止ネット巻き)



(2) ボランティア活動の場の提供

管内国有林では、様々なボランティア活動が実施されています。



「森人の会」による記念
植樹箇所の下刈り作業
(旭川市 カムイの森)



「美瑛山岳会」による木
道整備活動ボランティア

(3) 各種調査



クモイリンドウ

優れた自然を良好な形で次世代に引き継いでいくため、生育・生息する植物、動物などについて適切な管理を行う必要性が高まっています。

大雪山系では、固有種であるクモイリンドウに着目し、生育箇所の変遷を調査しながらヒューマンインパクトを確認するためのモニタリングを実施しています。

(4) 間伐材の利用拡大

治山工事や林道工事に間伐材等の木材を積極的に活用し、普及活動に取り組んでいます。



化粧型枠を使用した導流堤 (硫黄沢)



視線誘導を兼ねた木製法面工 (内大部林道)

(5) 森林環境教育の開催等

豊かな森林環境を有する国有林の中で、森林や林業について知り、学び、楽しむための森林教室の開催や、植樹、下草刈りなどの体験活動ができるフィールドを提供するなど、森林環境教育の推進に取り組んでいます。

○「遊々の森」での活動



「美遊の森」
旭川市
富沢小学校



上小の森
「エミーナ」
上川町
上川小学校



○上川総合振興局南部森林室との協働事業（森林とのふれあいの集い）



←除伐
作業体験



治山施設
見学→

○旭川市公民館事業への支援

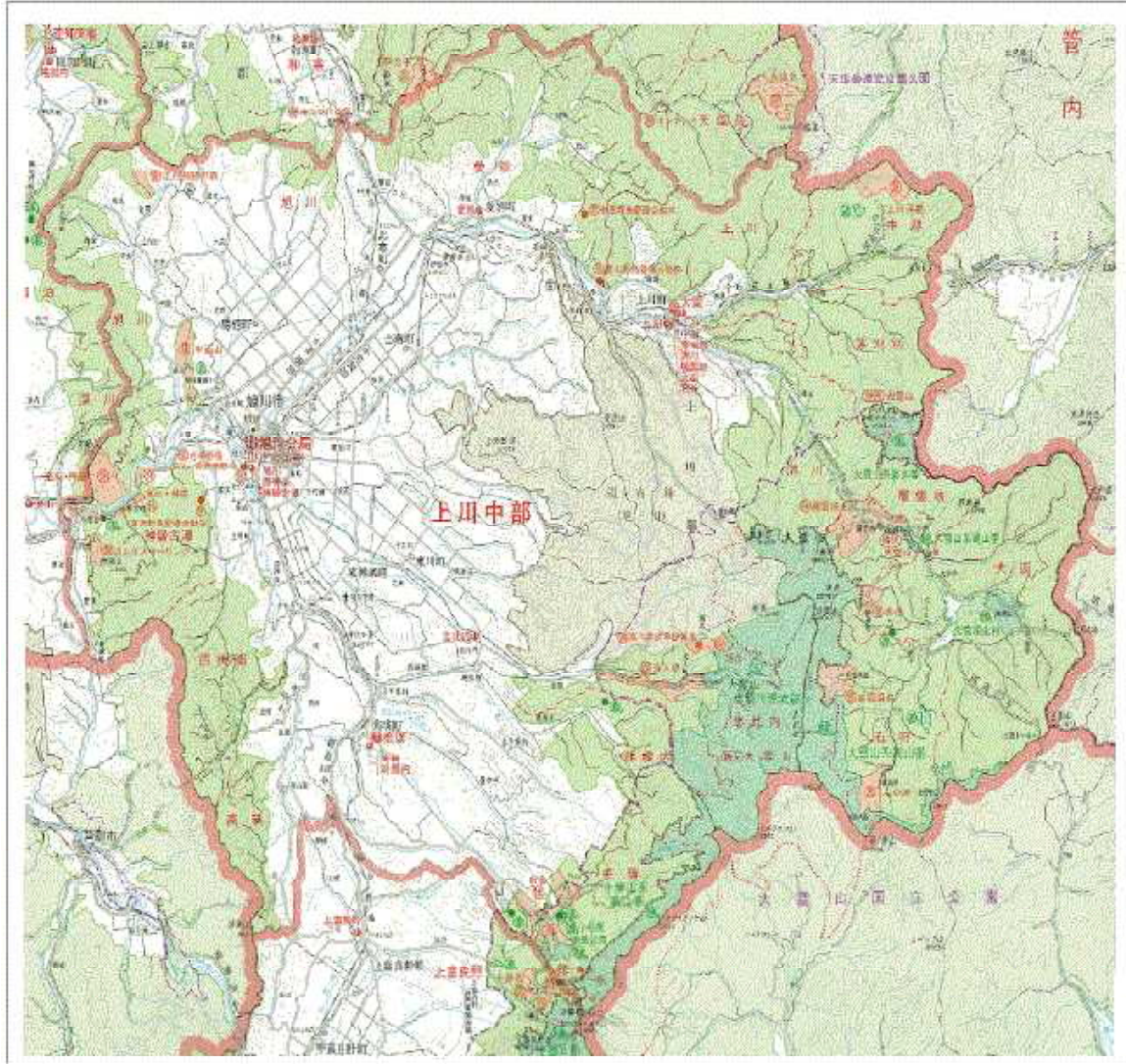


←
森森調査団



→
百寿大学

上川中部森林管理署管内位置図



管内市町村の概要

市町村名	人口 (23.2末)	面積 (ha)	国有林面積 (ha)
旭川市	352,617	74,760	23,749
愛別町	3,378	24,971	14,057
比布町	4,171	8,729	1,612
鷹栖町	7,520	13,944	1,372
東川町	7,863	24,706	4,261
美瑛町	10,959	67,716	32,439
上川町	4,254	104,924	82,235
東神楽町	9,561	6,864	
当麻町	7,225	20,495	
計	407,548	347,109	159,725

※官公造林地を含まない

上川中部森林管理署
 〒070-8003 旭川市神楽3条4丁目3番25号
 TEL 050-3160-5745 (IP)
 FAX (0166)-61-0690
 ホームページ <http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kamikawatyubu/index.html>